



2009～2010年度
国際ロータリーのテーマ
ロータリーの未来はあなたの手の中に
2009～2010年度
RI会長 ジョン・ケニー

Weekly Report

ROTARY CLUB OF NAGOYA MIZUHO

創立：1980年(昭和55年)11月10日
会長：増田 盛英
幹事：高木 勝
クラブ委員長：岩崎 道夫
例会日：毎週木曜日PM12:30～
会場：ヒルトン名古屋
事務局：460-0008
名古屋市中区栄1丁目3-3
ヒルトン名古屋910号
TEL：052-211-3803
FAX：052-211-2623
MAIL：2760nagoya@mizuho-rc.jp
URL：http://www.mizuho-rc.jp/

第1448回例会

～世界理解月間～
クラブテーマ：「熱田の杜・友愛・気品」

2010年2月25日(木) 晴 第31回

司会：長坂邦夫会場副委員長
斉唱：「それでこそロータリー」
ゲストスピーカー：大須演芸場 席亭 足立秀夫さん

会長挨拶

増田盛英会長

さて、2月は世界理解月間です。そして今月は4RC合同例会、法定休日、I.M.があったためヒルトンでの例会は今回だけです。2月18日のI.M.は「今、日本の水が危ない」というテーマのもと開催され、当クラブは全員登録をしました。



水は、雨や雪が、岩石や地下の岩盤などに浸透して伝わって流れていく間に岩などに含まれている鉱物を溶かし込みます。そして長い時間をかけて湧き水として噴き出してくるのです。地中の鉱物が溶けて含まれるミネラル(カルシウムやマグネシウム等)の配分によって軟水か硬水になります。ミネラルの比較的小さい水を軟水、多い水を硬水と呼んでいます。日本の地下水は地下にとどまっている期間が短く、地中のミネラル分の影響が少ないため軟水が多いのです。愛知県も殆どが軟水ですが海部地方は昔海だったため色々なミネラルがふくまれる硬水です。酒どころの灘の宮水も硬水です。

ヨーロッパなどの大陸の水は、石灰岩が多い上に地下での滞留期間が長いためにミネラルが溶けすぎて硬水となってしまいます。硬度200～300以上という水もあるほどで、軟水に慣れている日本人が飲むとお腹を壊してしまいます。この水の違いは料理にもお酒にも反映されています。例えばフランス料理では水を使うよりも、蒸したり炒めたり牛乳やワインを加えて煮たりすることが多くなります。日本料理では古くから水を使っての煮物・汁物・ゆで物といった料理が多くあります。又、お酒は、ヨーロッパ諸国ではワインが造られています。ワインはブドウを発酵させて造りますが、ブドウに含まれる糖分と水分だけを使うため水は使用しません。ただしヨーロッパ諸国の中でもイギリスの水は軟水です。日本と同じ島国であるイギリスは、水の質も日本と似ています。日本では日本酒が造られ、イギリスではウイスキーづくりが盛んになりました。このように水の違いは食生活の違い、ひいては文化の違いにまで密接に関わっています。

日本で雨の降る量は、年間約1,800ミリです。単位面積当たりの降水量は、世界平均の約2倍ですが1人当たりの降水量は世界平均の約5分の1です。

30年も40年も前から、日本国では蛇口を捻れば水どころかお湯まで出てくる時代になりました。私がボーイスカウトの隊長をしていた時、スカウト1人1日1Lの水しか与えないキャンプをしたことがあります。ボーイスカウトは1クルー8名の構成ですので1クルーで8Lの水しか与えられません。子供たちは、食器を洗うときにまず落ち葉などで汚れを取り、次に顔を洗った時の残りの水を使い、最後にきれいな水

ですすぐなど工夫して水の使用を最小限におさえる努力をします。この1人1Lの水は料理にも使わなければなりませんので、本当に知恵を出してキャンプ生活を送ります。このようにして子供たちに水の大切さを教えるのです。

水が無ければ人間、いや生物は生きていくことができません。蛇口を捻れば水が出ることを当たり前と思わず、私たちももっとも水を大事にしなければいけないと痛切に感じます。

幹事報告

高木 勝幹事

- ・本日13時40分よりヒルトン名古屋4階「藤の間」にて第5回クラブアッセンブリーと第8回理事会を開催致します。
- ・次週3月4日(木)13時40分よりヒルトン名古屋9階「ことぶきの間」にて第7回30周年記念実行委員会を開催致します。
- ・同じく3月4日(木)13時40分よりヒルトン名古屋9階「つるの間」にて地区大会準備委員会を開催致します。
- ・本日は卓話を12時55分から13時35分までの40分間行います。よって例会を5分間延長します。
- ・青柳齊さんの会員名簿用シールをメールボックスに配布致しました。
- ・ロータリーの囲碁同好会のお知らせが届いております。興味のある方は事務局または幹事までお問い合わせ下さい。

出席報告

梅村昌孝出席副委員長

会員70名 出席47名 (出席計算人数53名)

出席率 77%

2月18日は補填により 94.8%

ニコボックス

梅村昌孝ニコボックス副委員長

- ・2月14日(日)結婚記念日でした。長坂 邦雄さん
- ・還暦になりました。馬場 将嘉さん
- ・2月28日は私の誕生日です。鈴木さん、第二子(次男)誕生おめでとうございます。増田 盛英さん
- ・2月18日は妻の誕生日でした。きれいなお花を有難うございました。近藤 雄亮さん
- ・次男が誕生しました。おかげさまで母子共に健康です。鈴木 淑久さん
- ・席亭足立秀夫さん、本日の卓話よろしくお願ひいたします。松岡 道弘さん
- ・野崎さんお世話になりました。高須 洋志さん
- ・鈴木淑久さんいろいろお世話になり有難うございました。高木 勝さん
- ・先日野崎さんのお世話で楽しいゴルフをしました。ありがとうございます。関谷 俊征さん
- ・息子が監査法人トーマツを退職し私の事務所に来てくれました。私も数年で引退します。宮崎 信次さん
- ・しばらく欠席が続きました。佐藤 一郎さん
- ・例会欠席が続いています。本日も観光ホテルにて三好カントリーの総会です。泉 憲一さん

親睦活動委員会:平野好道委員長

春の家族会を4月11日に開催致します。今年はヒルトン名古屋で昼食をとったあとオペラ座の怪人を鑑賞します。出欠の締切が本日までです。また、ご家族の方のみの出席でも構いませんので、是非ご出席ください。

R情報委員会:松井善則委員長

今月のロータリーの友の表紙は国府宮はだか祭りの写真です。中にそのいわれも記載されております。また横書きのp26～p28に先日会長たちが参加されたインドでのポリオワクチン投与に関する記事が載っております。一度目をお通し下さい。その中に「25年を記念して」と記載されておりますが「30年」の間違いですのでご了承ください。

アイスホッケー同好会:田中政雄さん

明日から3日間、全日本女子アイスホッケー選手権大会が開催されます。会場は日本ガイシアイスアリーナとモリコロアイスアリーナです。日本ガイシのアリーナでは金・土・日、モリコロのアリーナでは金・土の開催です。興味のある方は入場無料ですのでぜひお出かけください。

お祝い贈呈



鈴木淑久さんに第二子(次男)が誕生し、お祝いが贈呈されました。おめでとうございます。

2月お誕生日おめでとう

田中 政雄さん 宇佐美貞夫さん 守谷 巖樹さん
 亀井 直人さん 宗宮 信賢さん 馬場 将嘉さん
 松井 善則さん 中川啓二郎さん 増田 盛英さん

委嘱状伝達

2010～11年度に第2760地区へ委員として出向される方々に、増田会長より委嘱状が伝達されました。



- ・高須洋志さん(RAC委員長・新世代委員・危機管理委員)
- ・遠山堯郎さん
(新世代副委員長・ロータリー未来委員・地区大会企画委員)
- ・天野正明さん(研修副委員長)
- ・稲葉 徹さん(社会奉仕委員)
- ・増田盛英さん(奨学金委員)
- ・高村博三さん(地区大会企画委員)
- ・高木 勝さん(職業奉仕委員)
- ・梅村昌孝さん(クラブ奉仕委員)



私はあの有名な大須演芸場の席亭でございます。なぜ私どもの演芸場の名が知られているかと言うと、あまりにお客が来ないことで有名なのです。昭和48年11月1日、前の経営者に「どうにも立ち行かないので私の代わりにやってほしい」と頼まれ、自分が生粋の名古屋人で大須に大変愛着があったこともあり引き受けることにしました。それから現在まで、今日潰れる明日潰れると言われながらも何とか生き延びて参りました。

超一流の会社がばたばたとなくなっていくこのご時世に、私どものようなものが残っているということは誠に不思議な話です。大きな理由の1つに「残存者利益」があります。残存者とは生き残ったものという意味で、もし私と同じような商売が名古屋に2、3軒あったらきっと残ってはいなかったでしょう。たった1軒というのが大きな強みになります。私どものような演芸場が潰れても世間の人には一切迷惑をかけませんが、マスコミは「東海地方にたった1軒しかない特殊な文化財がなくなるとはなににごとだ。潰してはいけない」という論調で書いてくれるので、マスコミを利用して「残存者」であることをPRしています。

以前、電気代が払えなかったことがありました。普通の家では電気代が未払いであると2～3ヶ月ほどで供給をとめられてしまいますが私どもは電気を使い続けたまま1年間滞納することができました。なぜかと言うと、うっかり電気を止めてしまうのももちろん演芸場は営業ができなくなり、中部電力は世間から「電気を止めたことによって大切な文化財を潰してしまった」と言われてしまうからです。最終的には、中部電力の社員が「ちょっとでも電気代の足しに」ということで寄席を見に来てくれるようになりました。

私ども寄席協会には「芸人に対する最低保証」という顕然たる掟があります。東京では1日500円のところもありますが我が大須演芸場では一番下っ端の芸人でも1,000円という大金を支払っております。芸人により収入は多少でこぼこがありますが全員を平均すると1日4,500円くらいでしょうか。演芸場の収入からそれだけ支払っているのです。36年間七転八倒し脂汗を流しながら、何とかやりくりしてまいりました。ちなみにいかがわしい行為は一切しておりません。ではどうやって生き延びているのかと申しますと「営業」、要するに芸人の派遣です。今日のような総会のあとや宴会、高校の古典芸能鑑賞会などにお呼びいただいております。

最近の高校生を見ていてわかったことがあります。それは賢い高校の生徒ほど気持ちいいほどよく笑うということです。ちょっとワンランク下の高校になるとほとんど笑わず、たまに笑いが起こっても完全にワンテンポずれております。昔より「賢者は聞き愚者は語る」と言います。知恵のある賢い人は人の話をよく聞き、それがくだらない話でも自分の頭で咀嚼をし何らかの参考にされます。それが「賢者は聞く」と言うことです。愚者の私が40分ほど話したことが、ほんのこれっぽっちでも皆様の頭の隅っこに引っかかったとすれば私の話は大成功でございます。どうもありがとうございました。

例会のご案内

■本日の卓話 3月4日(木)

会員卓話:高須 洋志さん
 テー マ:インドからの報告
 ーポリオワクチン投与活動に参加してー

■次週卓話 3月11日(木)

会員卓話:松井善則さん
 テー マ:「ロータリーの心と原点」を読んで想ったこと

■次々週行事 3月18日(木) 第1451回例会及びI.D.M.

場 所:ヒルトン名古屋4階「桜の間」
 時 間:18:00～20:15